

平成28年度

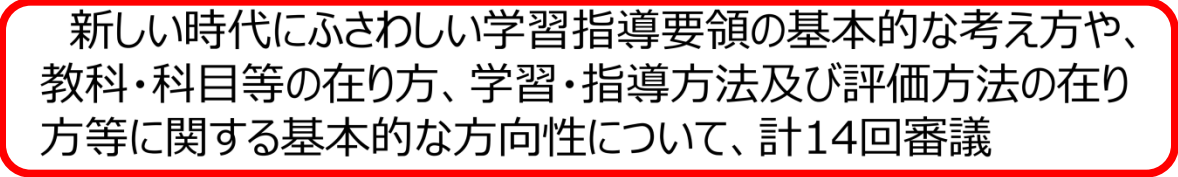
奈良県中学校教育課程研究集会 美術部会

平成28年7月29日 県立教育研究所
県教育委員会事務局 学校教育課
垣内 宏志

●本研究集会の目的

中学校学習指導要領に基づく教育課程の編成及び実施上の課題等について研修することにより、中学校教育の改善及び充実を図るために開催する。

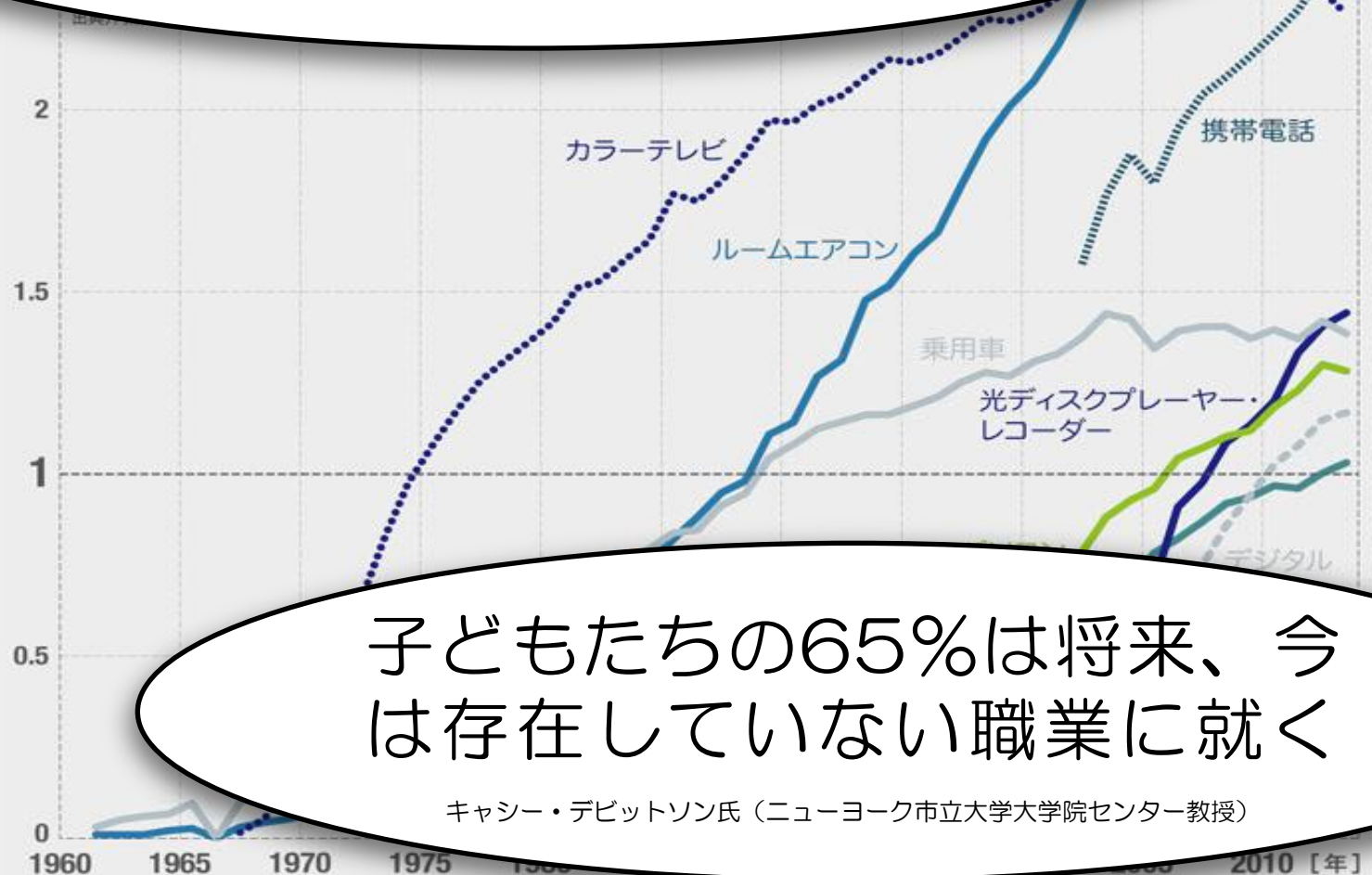
これまでの中教審の議論の経過と今後のスケジュール

平成26年11月	中央教育審議会総会 <u>「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」</u> 諮問
平成26年12月	教育課程部会 ・ <u>教育課程企画特別部会</u> を設置
平成27年 1月	教育課程企画特別部会（第1回）  新しい時代にふさわしい学習指導要領の基本的な考え方や、教科・科目等の在り方、学習・指導方法及び評価方法の在り方等に関する基本的な方向性について、計14回審議
平成27年 8月	教育課程企画特別部会（第14回） 教育課程部会 ・ <u>「論点整理」</u> をとりまとめ
平成27年 秋以降	<u>論点整理の方向に沿って教科等別・学校種別に専門的に検討</u>
平成28年	教育課程部会又は教育課程企画特別部会における議論を踏まえて、審議のまとめ
平成28年度内	中央教育審議会として答申

(小学校は32年度から、中学は33年度から全面実施予定。高校は34年度から年次進行により実施予定。)

今後10~20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性

マイケル・オズボーン氏（オックスフォード大学准教授）



子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就く

キャシー・デビットソン氏（ニューヨーク市立大学大学院センター教授）

子どもたちが、これからの時代を乗り越えていく力を身に付けるために…

- 知識を覚えることよりも、情報を使いこなす力を重視。
- 自分の考えをもつ、適切に判断する、まわりの人たちに分かりやすく表現するなどといった力が求められている。

人工知能が飛躍的に進化する中、我が国の学校教育が育む「人間の強み」

人間は、みずみずしい感性を働かせながら、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかなどの目的を考え出すことができ、その目的に応じた創造的な問題解決を行うことができるなどの強みを持っている。

学習指導要領改訂の方向性（案）

新しい時代に必要となる資質・能力の育成

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な知識や力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の力を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善

深い学び

対話的な学び

主体的な学び



※高校教育については、些末な事象的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革を進める。

＜社会に開かれた教育課程＞

- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。
- ② これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。
- ③ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

現行学習指導要領の成果と課題

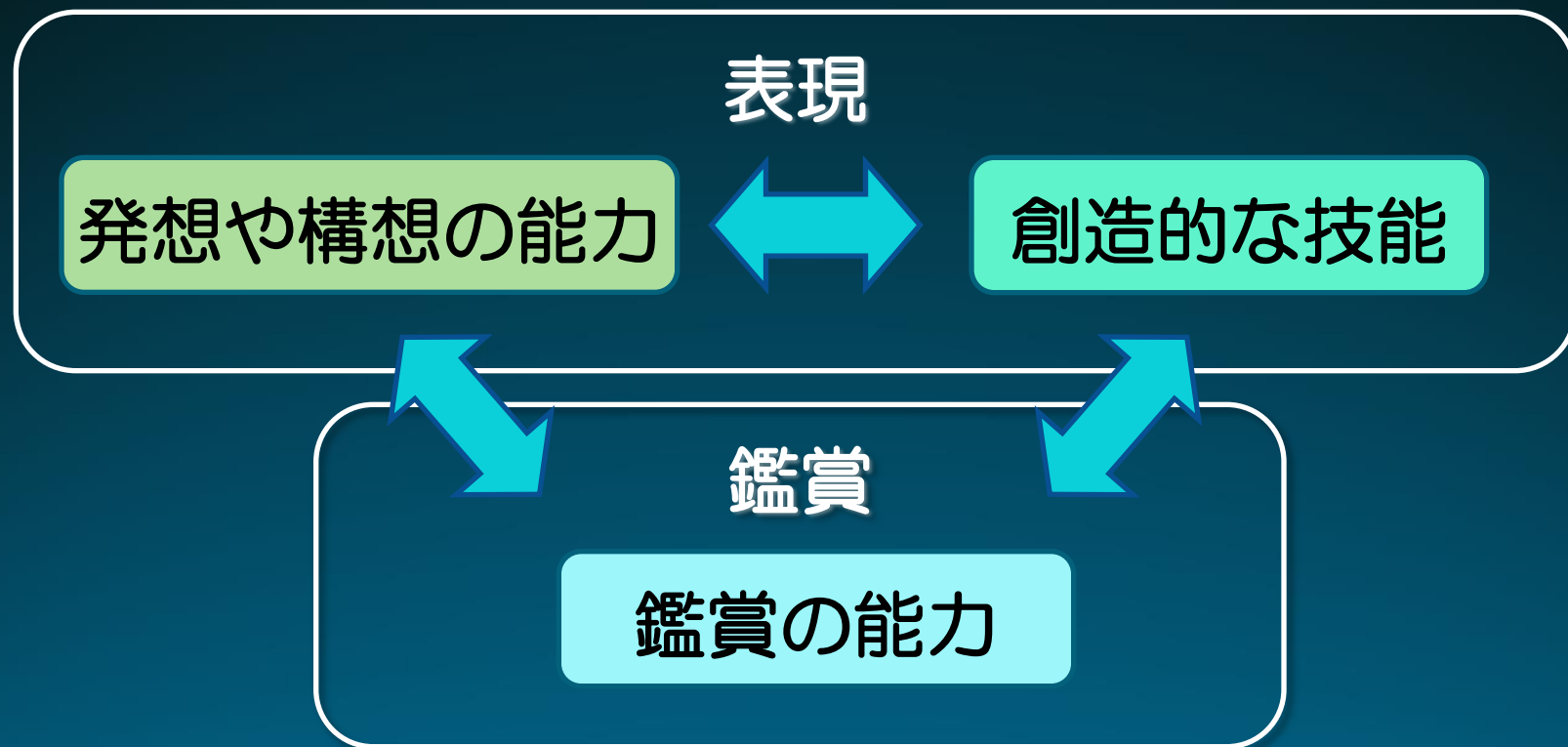
図画工作・美術に関する現状と課題①

感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し表現したり鑑賞したりするなどの資質・能力を相互に関連させながら育成することや、主体的で創造的な学習活動の充実が求められている。

- 表したいことを見つけて絵に表すこと、我が国や諸外国の作品、暮らしの中の作品の表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえることに課題がある。
- 表現と鑑賞に共通して働く資質・能力であるとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てるための視点である〔共通事項〕については、一部課題がある。

平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査（国立教育政策研究所）より

- 感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し表現したり鑑賞したりするなどの資質・能力を相互に関連させながら育成すること



それぞれの能力は、相互に関連し合って働いている

- 主体的で創造的な学習活動の充実が求められている。

「表したいことを見つけて表すこと」 (小学校)


小学校学習指導要領 第7節図画工作第2各学年の目標及び内容 A表現(2)ア

「主題を生み出すこと」 (中学校)

中学校学習指導要領 第6節美術第2各学年の目標及び内容 A表現(1)ア



子どもが自分の表したい主題を見付けられるようにすることは学習指導要領に記された指導事項である

A student in a school uniform is sitting at a desk, focused on painting a yellow star on a piece of paper. They are using a paintbrush and a palette of watercolor paints. The desk is cluttered with art supplies, including a white tray with various colored paints and brushes. The background is slightly blurred, showing a typical classroom setting.

生活

学校

経験・体験

環境

既習内容

文化

生徒が自分との関係でとらえることのできる題材
設定や指導を工夫する



試行錯誤の中で主題や構想が深まっていくこともある



形



色彩



イメージ

〔共通事項〕の視点により、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てるための指導の充実を図る

図画工作・美術に関する現状と課題②

生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化
についての実感的な理解を深め、生活や社会と豊かに
関わる態度を育成することが求められている。

- 「美術の学習が好きだ」という質問に74.7%の生徒が肯定的に回答したのに対し、「美術の学習は、将来の生活や社会に出て役立つ」という質問に肯定的に回答した児童は、50.5%だった。

平成21年度特定の課題に関する調査（国立教育政策研究所）より

- 生活や環境の中の造形のよさや美しさなどを感じ取る鑑賞の学習や、自分の気持ちや伝えたい内容などを形や色、材料などを生かして他者や社会に表現する学習を行っていますか。



平成26年度教育課程研究集会における教員アンケート調査より

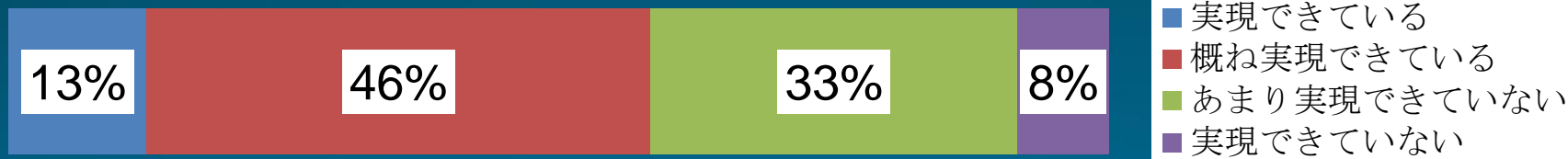
図画工作・美術に関する現状と課題②

生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深め、生活や社会と豊かに関わる態度を育成することが求められている。

- 美術文化の理解を深める学習についての各都道府県等の実施状況に関する質問事項において、約5割が美術文化の継承と創造への関心が高まるような学習に至っていない等の課題を回答している。

教育課程の編成・実施に関する聴取資料（中学校）より

- 我が国の美術についての学習を重視し、美術文化の継承と創造への関心を高めるとともに、諸外国も含めた美術文化の理解等を深める鑑賞の学習を行っていますか。



平成26年度教育課程研究集会における教員アンケート調査より

美術科が育成する資質・能力
～ 何ができるようになるか ～

美術科で育成すべき資質・能力の整理

育成すべき資質・能力の三つの柱（案）

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

中学校美術科において育成すべき資質・能力の整理 (検討のたたき台)

知識・技能	思考・判断・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> • <u>形や色彩, 材料, 光などの性質や, それらがもたらす感情などの特徴</u>について, 創造活動を通じた<u>造形的な視点</u>として理解したり, 美術作品, 文化遺産などについて<u>造形的な特徴から作風</u>などを理解したりすること。 など • 感性や造形感覚を働かせ, <u>形や色彩などの表し方のコツ</u>をつかみ, <u>意図や自己の捉えたイメージ</u>などに応じて, <u>形や色彩, 材料, 用具の特性</u>を生かしたり, 新たな表現方法を工夫したりすることや, 見通しをもって表したりするなどの創造的な技能を身に付けること。 など 	<ul style="list-style-type: none"> • 感性や想像力を働かせ, <u>形や色彩の特徴などを基にイメージを捉える</u>などして, 主題を生み出したり豊かに発想したりし, よさや美しさなどを考え創造的な表現の構想を練ること。 など • 感性や想像力を働かせ, <u>形や色彩の特徴などを基にイメージを捉える</u>などして, 身の回りの造形や美術作品についての見方や感じ方を深めたり, 生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや, 美術文化の伝統的かつ創造的側面などを捉え, そのよさや美しさなどを感じ取り味わうこと。 など 	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な対象・事象からよさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る感性 • 美術の創造活動の喜び • 美術の創造活動に主体的に取り組む態度 • 美術を愛好する心情 • <u>形や色彩</u>などによるコミュニケーションを通して, 生活や社会と主体的に関わる態度 • 美術文化の継承と創造への関心 • 美しいものや優れたものに接して感動する, 情感豊かな心としての情操 など

下線部は、現行の学習指導要領に示している〔共通事項〕と関連する箇所)

育成すべき資質・能力を踏まえた
学習内容の見直し
～ 何を学ぶか ～

次期改訂における「知識」とは

- 一人一人が感性などを働かせて、自分なりに理解し、表現したり鑑賞したりする喜びにつながるもの
- 学習経験を重ねることで、知識が更新されていくこと
- 「技能」についても、一定の手順に沿った技能のみならず、変化する状況に応じて主体的に活用できる技能の習熟に向かうこと

中学校美術科の評価の観点のイメージ（例）

観点(例)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各観点の趣旨のイメージ（例）</p> <p>※実際の記述は、各教科の特性、目標の示し方に合わせて検討</p>	<p>（例） <u>造形的な見方・考え方を働かせて</u>、形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情などの特徴について、創造活動を通じた造形的な視点として実感を伴う理解をしたり、美術作品、文化遺産などについて造形的な特徴から作風などを理解したりしている。</p> <p><u>造形的な見方・考え方を働かせて</u>、意図に応じて、形や色彩、材料、用具の特性を生かした新たな表現方法の工夫をしたり、見通しをもって表したりするなどの<u>創造的な技能を身に付けている</u>。</p>	<p>（例） <u>造形的な見方・考え方を働かせて</u>、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで<u>創造的な表現の構想を練っている</u>。</p> <p><u>造形的な見方・考え方を働かせて</u>、身の回りの造形や美術作品についての見方や感じ方を深めたり、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや、美術文化を伝統的かつ創造的側面から捉えたりして、そのよさや美しさなどを<u>感じ取り味わっている</u>。</p>	<p>（例） <u>造形的な見方・考え方を働かせて</u>、美術の創造活動の喜びを味わい、生活や社会の中の美術の働きや美術文化と豊かに関わり、<u>主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする</u>。</p>

造形的な「見方・考え方」とは

- ※「見方」…様々な事象を捉える教科等ならではの視点
- 「考え方」…教科ならではの思考の枠組み

感性や想像力などを働かせて、形や色などの造形的な視点で対象をとらえ、自分のイメージを持ちながら、造形と生活などとの関わりについて創造的に考えること。

- 芸術系教科の「見方・考え方」は、〔共通事項〕とも深い関わりがあり、他教科以上に、知性と感性の両方を働かせて対象をとらえることが特徴である。「感性」とは様々な対象・事象からよさや美しさなどの価値や心情などを感知取る力であり、知性と一体化して人間性や創造性の根幹をなす。

資質・能力の育成と主体的・対話的で深い学び(「アクティブ・ラーニング」の視点)

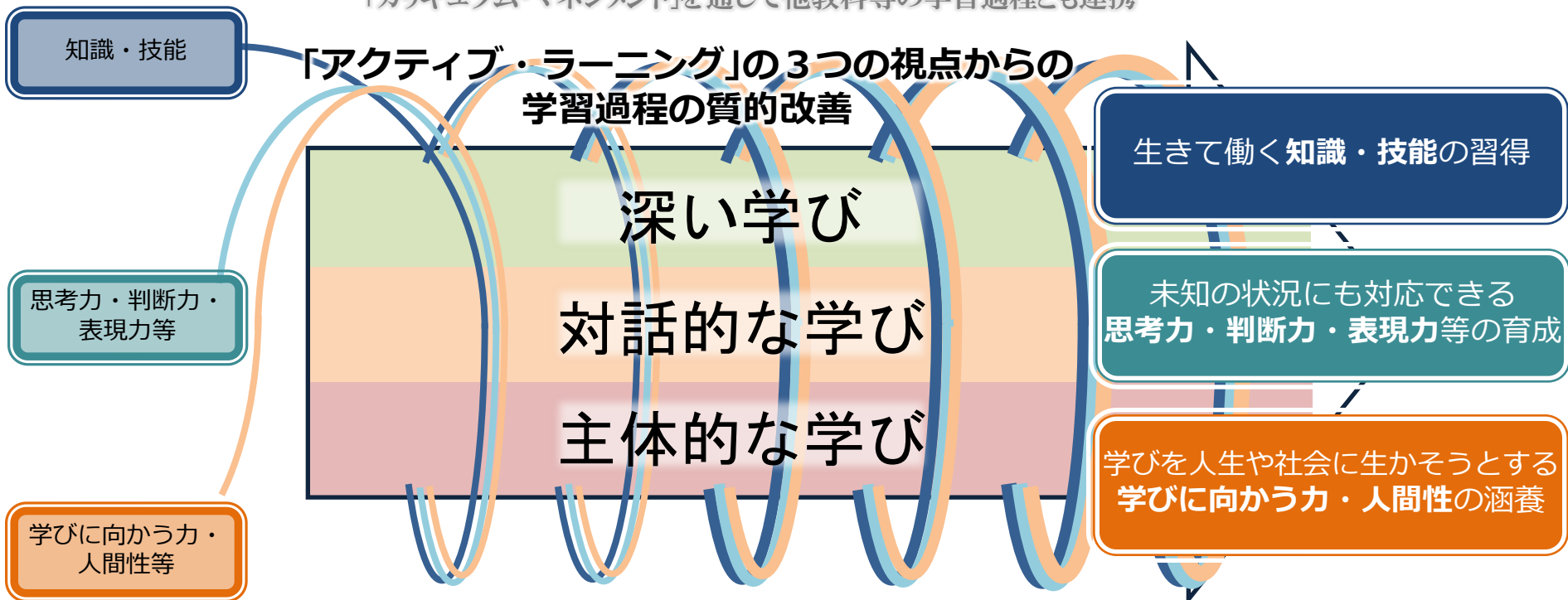
～ どのように学ぶか ～

- ① 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置きつつ**深い学びの過程**が実現できているかどうか。
- ② 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、**対話的な学びの過程**が実現できているかどうか。
- ③ 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、**主体的な学びの過程**が実現できているかどうか。

アクティブ・ラーニングの視点は、生きて働く知識の習得により必要な力が身に付くことを目指し、学習過程の質的改善を行うものであり、特定の授業スタイルの普及を求めものではない。

- ◆ 「アクティブ・ラーニング」の3つの視点を明確化することで、授業や学習の改善に向けた取組を活性化することができる。これにより、知識・技能を生きて働くものとして習得することを含め、育成すべき資質・能力を身につけるために必要な学習過程の質的改善を実現する。
- ◆ 資質・能力は相互に関連しており、例えば、習得・活用・探究のプロセスにおいては、習得された知識・技能が思考・判断・表現において活用されるという一方通行の関係ではなく、思考・判断・表現を経て知識・技能が生きて働くものとして習得されたり、思考・判断・表現の中で知識・技能が更新されたりすることなども含む。

「カリキュラム・マネジメント」を通じて他教科等の学習過程とも連携



※ 基礎的・基本的な知識・技能の習得に課題が見られる場合においても、「深い学び」の視点から学習内容の深い理解や動機付けにつなげたり、「主体的な学び」の視点から学びへの興味や関心を引き出すことなどが重要である。

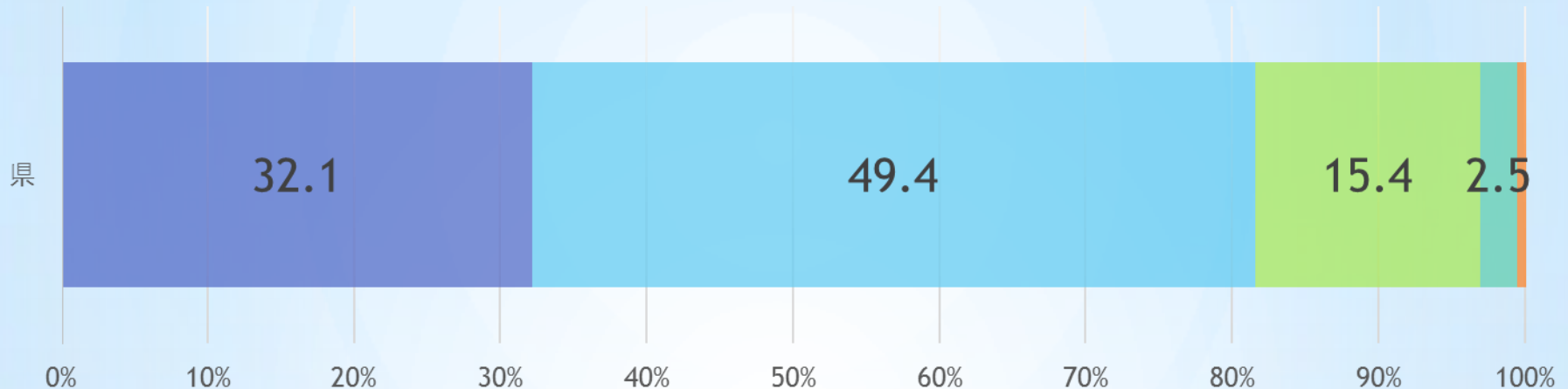
奈良県学力・学習状況調査

平成28年4月19日（火）

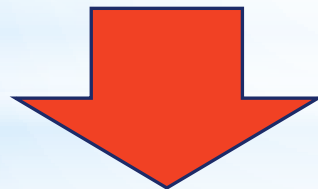
- 学力調査
- 生徒質問紙調査
- 教員質問紙調査

奈良県学力・学習状況調査（教員質問紙調査）

- 学校全体の学力傾向や課題について、他の職員と共有していますか。



奈良県学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査



自校の生徒の実態を共有

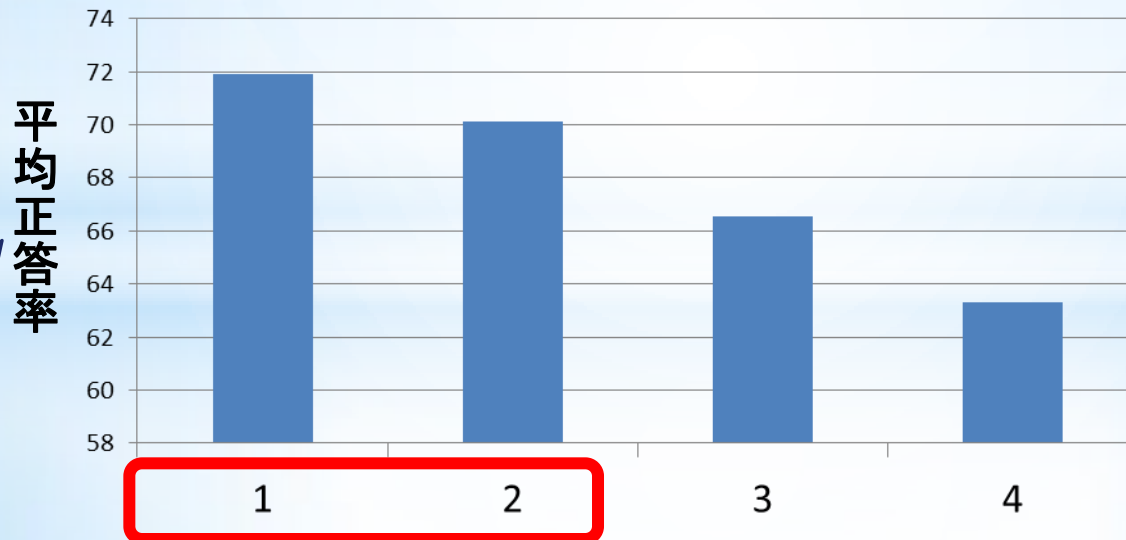
教職員の一致した指導

〈肯定的な回答ほど、平均正答率が高いもの〉

下のグラフにおいて、「家で復習をしている」と答えた生徒ほど平均正答率が高く、「復習をしていない」と答えた生徒ほど平均正答率が低い。

質問に対する回答結果と平均正答率との間に、このような関係が見られるものを紹介する。

家で、学校の授業の復習をしていますか



国語と数学の相加平均

平均正答率

- 1 している
- 2 どちらかといえばしている
- 3 どちらかといえばしていない
- 4 していない

〈肯定的な回答ほど、平均正答率が高いもの〉①

○家庭学習状況

- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・家で、学校の授業の復習をしている。
- ・疑問に思ったことは自分で調べてみようと思う。

○自尊感情

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ・自分は、先生から認められていると思う。
- ・自分には、よいところがあると思う。

〈肯定的な回答ほど、平均正答率が高いもの〉②

○規範意識

- ・学校の規則を守っている。
- ・友達との約束を守っている。
- ・学校では、先生に挨拶をしている。

○社会に対する興味・関心

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている。
- ・家庭で、地域や社会で起こっている問題や出来事を話題にしている。

〈肯定的な回答ほど、平均正答率が高いもの〉③

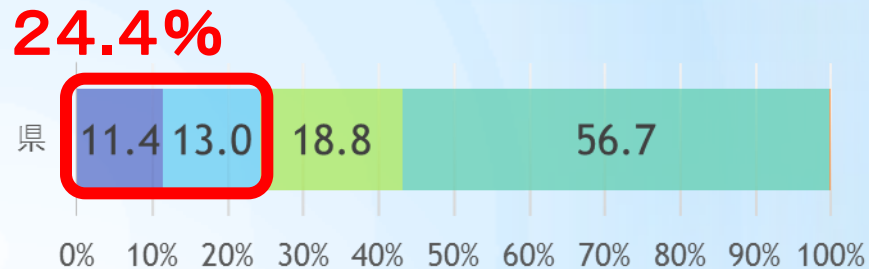
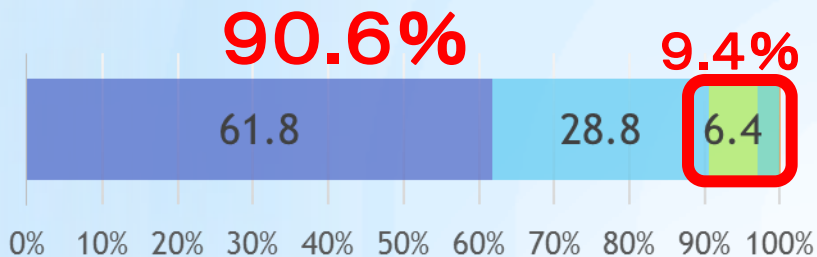
○授業において

- ・小学校では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。
- ・小学校では、授業のはじめに目標（めあて、ねらい）が示されていたと思う。
- ・小学校では、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。

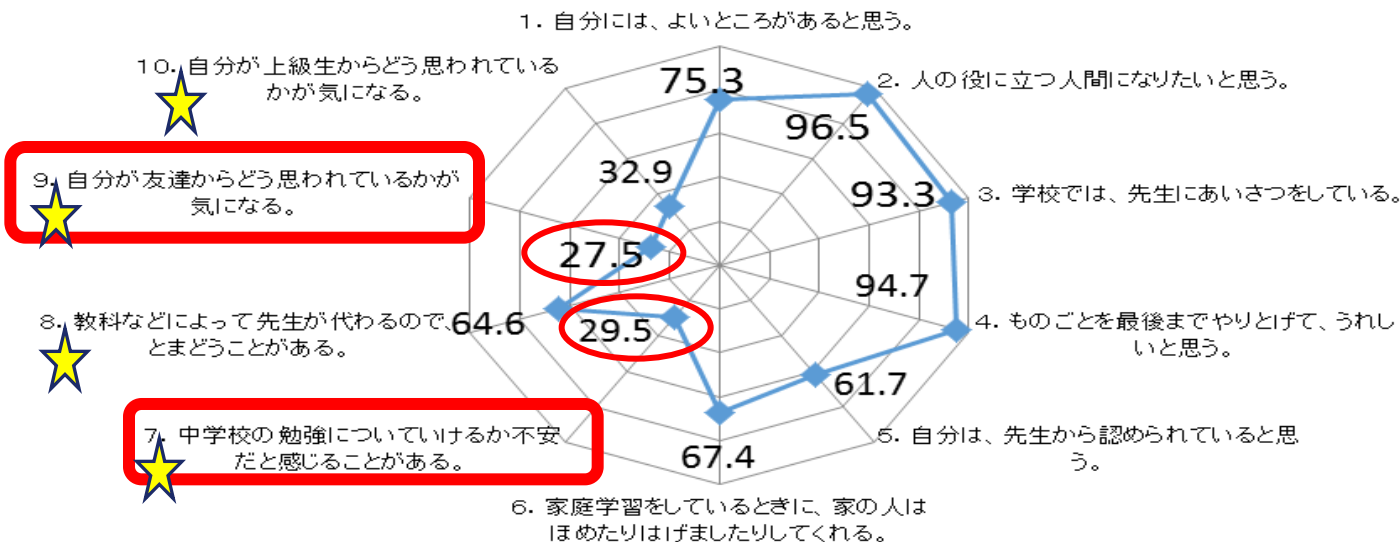
奈良県学力・学習状況調査（生徒質問紙調査）

○ 学校に行くのは楽しいですか。

○ 学校に行けない、または、行きたくないと思うことがありますか。



生徒質問紙調査（県平均）

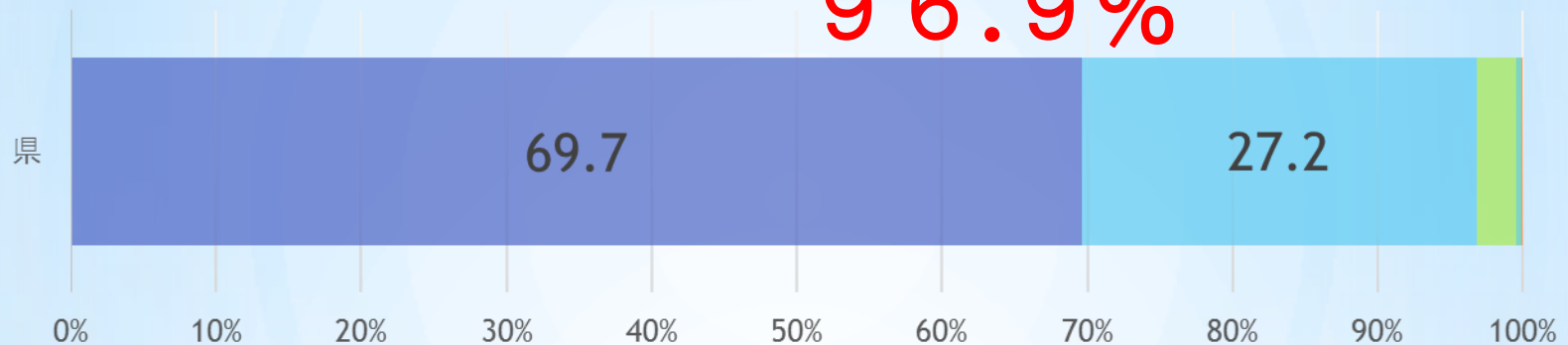


※設問1～10のうち、
1～6は、「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した生徒の割合の合計
7～10は、「どちらかといえば思わない」、「思わない」と回答した生徒の割合の合計を表す。

奈良県学力・学習状況調査（教員質問紙調査）

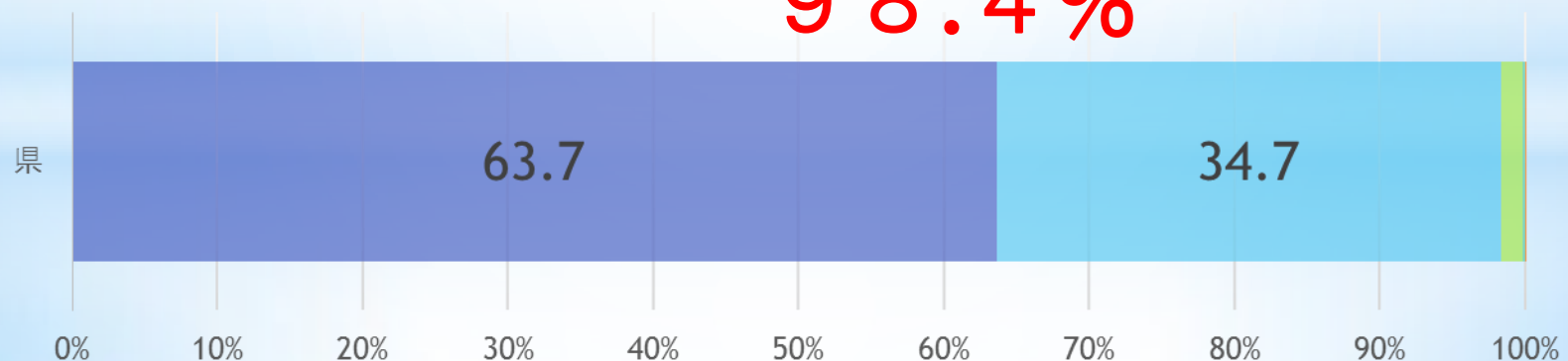
○ 生徒に学校や地域で挨拶をするよう指導していますか。

96.9%

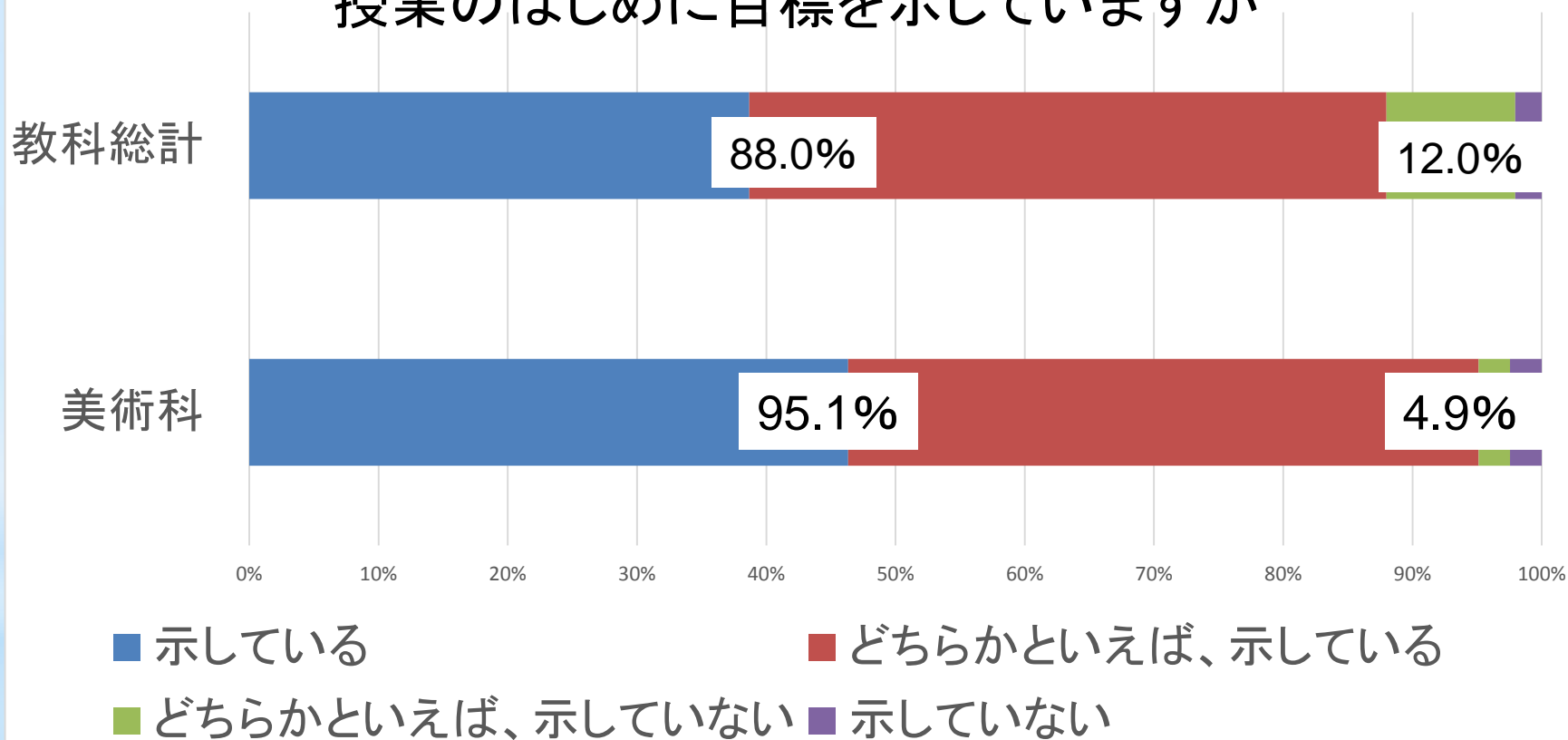


○ 学校では、生徒のよいところを見付け、褒めていますか。

98.4%



授業のはじめに目標を示していますか



授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っていますか

